



## 災害義援金【東北地方太平洋沖地震】 purse



©御前崎消防署

牧之原御前崎消防本部が緊急援助隊として現地へ出動し、撮影してきた福島県相馬市の被害状況。同市は震度6弱の揺れを受け、7.3以上の津波がまちを襲撃した。海岸線では土砂崩れが発生。行方不明者も多数出ている。家屋は潰れ、多くの車が津波によって流されてしまった。出動した隊員からは「津波の被害が特に甚大だ。避難の大切さを感じた」という声が聞かれた。

「何もかもがなくなってしまう」と。被災者がテレビ局のインタビューに応えた。どうか生きてほしいと泣き崩れる住民。やっと出会えた親に泣きながら抱き付く子ども。生後3か月ほどの子どもに、避難所は寒いからと小学校で使用されている給食の白衣を着せる母親の姿も映し出された。

3月11日午後2時46分。宮城県三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の大地震が、東日本を襲った。強い揺れと予測をはるかに超える大津波により、被害は甚大なものとなった。

福島第一原子力発電所では、「止める、冷やす、閉じこめる」の三原則のうち、「冷やす、閉じこめる」の機能が働かず、大規模な原子力事故に至っている。

現地ではライフラインが徐々に回復の兆しを見せているが、依然として食糧不足や燃料不足が続いている。太平洋沿岸のまちは壊滅状態。復興までには相当な時間と労力がかかると予想される。こうした状況下、市では緊急支援物資を被災地へ送った。

**市**民の皆さんからも愛のこもった義援金が集まっている。4

月4日までに市役所と市社会福祉協議会へ届けられた義援金は、総額1,188万7,826円。日本赤十字社と中央共同募金会を通じて、被災地へ届けられる。義援金は下記窓口で受け付け中。現在、被災地の受け入れ体制が整っていないため、個人からの物資受け付けは一時中断している。状況が変わり次第、市役所もしくは市社会福祉協議会のホームページへ掲載する。

### 義援金受け付け窓口

市市民課、福祉課、御前崎支所、社会福祉協議会、市立図書館アスナル、市民プールふる

## 私たちには、今だからできることがある



◀3月に防災課から全戸配布された防災マップ

**東**北地方太平洋沖地震は、確認されているだけでも1万人を超す死者が出ている。私たちが恐れる東海地震も同規模の地震と考えられる。今回の地震を決して風化させてはならない。東海地震の

警鐘と捉え、各家庭で地震・津波対策を徹底する必要がある。地震は明日発生するかもしれない。今夜発生するかもしれない。今しかない。全ては自分の命のため。大切な人の命を守るため一。